



住吉教会 2012年度テーマ

「殉教者の霊性を生きる」

—信仰刷新の年—

## この人は大工ではないか

7月8日 年間第14主日の福音から

赤波江 豊 神父

イエスが約30年間過ごされたナザレでの生活のことは聖書からほとんど知ることはできません。それは隠れた平凡な生活であり、私たちの生活とあまり変わらないものだったと思います。そのナザレの生活を知るわずかな手掛かりは大工ヨセフと同じようにイエス自身も大工であったということです。従ってイエスが故郷ナザレに帰って会堂で教えられたとき人々は「この人は大工ではないか。マリアの息子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟（兄弟とは親戚関係の表現）ではないか…このように人々はイエスにつまずいた。イエスは、預言者が敬われないのは自分の故郷、親戚や家族の間だけであると言われた」（マルコ6章3～4節）

マリアとヨセフが30年間経験し、そして私たちも日々経験しなければならない信仰の試練とは何でしょう。それはいつも一緒にいる人の中に神を見るということです。マリアとヨセフは受胎告知の時ガブリエルから受けた僅かな言葉「その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる」（ルカ1章32節）だけを頼りに一緒に生活している男の子を救い主と信じなければなりません。その子はどう見ても普通の男の子にしか見えない場合もあったでしょう。心に疑いを感じたこともあったでしょう。それこそがマリアとヨセフの信仰の試練でした。私たちは自分の生活の場から離れた所にいる傷ついた人、苦しむ人の中にイエスを見出すことは困難ではありません。しかし家族などいつも一緒にいる人たちの中にイエスを見出さなければならないということは、場合によっては非常に困難であり一生の信仰の試練なのです。

福音書の他の個所にもイエスが親戚から理解されていなかったことをうかがわせる個所があります。（マルコ3章21節）宣教活動の間一緒にいて、イエスのことを理解していたはずの弟子たちでさえイエスの十字架の時にはイエスを見捨ててしまいました。

しかし聖書には私たちに希望を与えてくれる個所があります。イエスが復活して弟子たちに現れ、昇天して聖霊降臨を待つ間「彼ら（弟子たち）は皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた」（使徒言行録1章14節）イエスの兄弟たち、即ちイエスの親戚関係の人たち、宣教活動の間はイエスにあまり理解を示しませんでした。最後にはイエスを理解して信じ、聖霊の訪れを待ちながらマリアや弟子たちと心を合わせて熱心に祈りました。マリアとヨセフ、そしてイエスの親戚が経験し、私たちも日々経験している信仰の試練、即ち家族などいつも一緒にいる人の中にイエスを見出さなければならないことは時々困難を伴いますが、私たちも「弟子たちとマリアそしてイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈り」（使徒言行録1章14節）ながら聖霊の働きの内にお互い理解しあえる時が来ることを信じましょう。

### 感謝献金について

私たちは誕生から始まって受洗、七五三、入園、入学、初聖体、堅信、入試、成人式、就職、結婚など人生の節目で神様からたくさんのお恵みをいただいています。このお恵みに対する感謝の気持ちを献金という形で神様に表すこともできます。あらゆる場で神に感謝をささげましょう。（赤波江神父）

# 2012年6月度 カトリック住吉教会評議会議事録

1. 日時: 2012年6月23日(土)14:00~16:50

2. 場所: 住吉教会第2会議室

出席者: 赤波江神父・他評議会メンバー

はじめの祈り: 赤波江神父

今月は二十六聖人の記念行事として京都で6/8、岡山で6/9、長崎は6/10とそれぞれ日本の教会で殉教者の祈りのミサがありました。6/9は住吉教会が主体となって巡礼も行われ、この時中央教会からも17名参加して下さって非常に有意義な楽しい一日を過ごしました。またその巡礼で溝部司教様にもお会いしていいお話をいただくことが出来ました。今年の待降節の黙想会は溝部司教様をお願いしております。

丁度6/10の長崎の記念のミサで26本の樺の木が記念に植樹されたそうです。というのは二十六聖人が殉教した十字架の跡にそれぞれ26本の樺を植えられたということを知って住吉でも、ぜひ溝部司教様がいらした時に司教様の手で樺の木の記念植樹をできたら素晴らしいことだと考えています。溝部司教様はキリシタンの専門家なので深いお話をしてくださると思います。

また神戸地区は昨年津波震災原発事故で大きな被害を受けた福島の子供たちを夏の行事に招こうと今「ふっこうの架け橋プロジェクト」をしております。これも私たちにとって大きな有意義な出来事になります。神戸地区も大きな被災を受けましたが同じような被災を受けた人たちと心一つにしてお互いに希望を持って歩んでいきたいと思えます。またこの件に関しても皆様にご協力をよろしく願いいたします。

3. 議題:

## I 今後の日程確認

- ・6月24日(日) ホームページ委員会 11:00~
- ・7月1日(日) 神戸地区宣教司牧評議会 14:00~ 北須磨教会
- ・7月6日(金) 神戸地区年1回一斉夜回り 19:00(社活)
- ・7月12日(木) 茶話会
- ・7月14日(土) 小教区評議会 14:00~ 8月は原則休会
- ・7月27日(金)~28日(土) 教会学校キャンプ(明石市立自然の家)
- ・7月29日(日) バーベキューパーティー 17:00~
- ・8月3日(金)~8月5日(日) 神戸地区と福島の子どもの合同キャンプ
- ・8月4日(土) 平和旬間祈願ミサ(神戸地区) 14:30~ 愛徳学園講堂
- ・8月11日(土)~8月13日(月) 中高生キャンプ
- ・8月12日(日) 大掃除
- ・8月15日(水) 聖母の被昇天 19:00~ミサ その後パーティー

## II 審議事項

### 1. バザーについて

- ・10/28に決定 規模については実行委員会に一任する。
- ・売上収益金は昨年同様東日本震災復興支援とする。
- ・バザー実行委員長 役員会でKbさんを推薦 →承認
- ・バザーは食べ物を中心にしたいと考えている。無理をせず拡張しない。
- ・10/6 2階和室はバザー用品を置かない。
- ・地区のイベント実行委員会より「夏休みフェスタ」が10/27に行われるので幼稚園の参加報告。

### 2. 平日の受付当番

従来通りとする。

### 3. 「ふっこうのかけ橋」プロジェクト支援募金 送金

6/24「ふっこうのかけ橋」プロジェクト実行委員会ミーティング（神戸中央教会）14:00～（Kb, Kr）

8/5 ミサ後ふれあいフェスティバルで各教会が催し物を考える。（愛徳学園）

住吉教会としては 6/24 の実行委員会ミーティングの様子を見てから何をするかを考える。

### 4. 外部流し台設置

・K 工務店に見積依頼 水道工事・ガス工事

・テント購入 3 個 承認

### 5. 自動車利用管理規定

一部修正 承認

### 6. チーム制について

司牧（Yt・Km）：

・新しく転入された信徒の紹介を地区長に連絡し電話連絡網に入れる。

・司牧、レジオと地区長の話し合いを 2～3 月に 1 回行う。

・チーム募集に伴いチーム活動の一部見直しを検討する。

・7月14日の評議会までに各チームのアピールポイントをまとめる。 継続審議

## Ⅲ 各チーム長報告、提案

・Tk： 6/9 京都巡礼会計報告

・HP（Kw）： 京都巡礼にビデオが 3 つある。溝部司教様のビデオは許可を得てからニュースに載せる。

・司牧（Yt）： 祈年祭の招待状ができました。

・典礼（Ng）： 6/24 の山本助祭の集会祭儀についての準備。奉納・奉献・感謝の祭儀はなし。

・社活（Kj）： 7/6 神戸地区年一回の一斉夜回り 19:00～

・宮繕（Kr）： 6/17 ゴーヤ・朝顔の網張り

6/18 コピー室棚購入

6/20 流し場見積の為 K 工務店来館、

6/22 6/26 K 工務店ガス管工事見積もり予定

・駐車許可証発行

・広報（Im）： ホワイトボード掲示の写真の申し込みを締め切りました。

・星の園幼稚園（M）：

年長児お泊り会

今年度より夏休み夏期保育開始

幼児の安全管理指導（日赤） AED 設置（リース）

・HP（Um）： 8 月予定表作成の為変更をお知らせください。

・教会学校（Uj）： 7/7 川遊び（小さき花の幼稚園と合同）

7/27～28 教会学校キャンプ（明石市立自然の家）

・主日ミサのあとのお知らせについて（赤波江神父）： 現状維持でゆく。

終りの祈り： 赤波江神父